

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者様が、有する能力に応じて可能な限り、自立した日常生活を営むことができるよう支援する」という独自の理念を掲げています。	部会MT等で確認し合っています
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内、見やすい所に明示、常に職員が意義を理解、共有できるようにしています。	毎日の生活の中で利用者様の取り組みの中で確認し合っています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホーム内、見やすい所に明示、入居者及びご家族に説明しています。	ご家族や知人の来訪の際には又ボランティアの方々、見学はいらした方達などに説明しています。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様の友人や知人をはじめ、気軽に声をかけ合ったり、立ち寄っていただくことと日常的におつきあいをしています。	G.Hの周辺を散歩をしたり、庭の草花を見せたりして会話して楽しんでいます
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りや文化交流会等は、利用者様全員が参加。地元ボランティアの皆様とも毎月交流しています。	日立市諏訪交流センター(徒歩5分)にて金おどり参加。文化交流会へ作品展等皆さんで見学に出かける 毎年参加交流しています

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今までは取り組む余裕がなかった。 開設4年目に入り、今後の課題として検討していきたい。		認知症への理解がなかなか深まらなかったが、諏訪交流センターの催物に利用者が参加することによって受け入れて
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果報告書等を活かし改善に努めている。	○	今後も改善に積極的に取り組んでいきたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実施可能なものより順次活かしている。		諏訪交流センターへの夏まつり、文化祭参加の実施もあつたがサロンの参加も可能となった
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村には、積極的に参加するつもりがけています。また、介護していく上で困り事の相談もしています。		月1回相談員が来訪され近況などの情報も教えてもらっています
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を利用し活用していきたい。		前年度の社内研修会で実施しているが今年度も取り組んでいきたい (現在利用者の対象者いない)
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員一同注意を払い、防止に努めています。また、新聞やTV等の情報にもその都度話し合いをしています。		毎月社内でのヘルパー研修会においてテーマ別に学んでいる

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様や、ご家族に対して、十分な説明を行い理解・納得していただいています。	管理者、介護計画作成者が対応し理解出来ずまで丁寧な説明をし、納得していただいている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が、ホームに来た時、折り返しのご意見が伺う様に心がけています。又、ご家族があれば、上司に報告、即運営に反映できるようにしています。	毎月1回相談員の来訪があり、利用者の不満や苦情を聞き対応している
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族への連絡帳を作成、 <sup>確認の</sup> 常時見ていただくよう声かけをして、サインをいただいています。	ご家族の都合上ホームに来れない時の事も配慮、定期的に報告できるように取り組んでいます。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の意見などは、聞く時間帯で記録し、職員で共有、運営に反映しています。	行政などのアンケート調査などを利用して意見を反映させている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体朝礼、部会ミーティングで提案も、対応している。	毎月企画書、要望書の提出があり、出さずだけ対応している
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	現在も実施しているが、充分と云えない。 要望に柔軟な対応ができるように努めていく。	各スタッフの希望休の提出により、安心して働けるように心がけている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム内においては、アウトホーム的な支援ができています。異動や高付取で代わる際も、馴染みの職員がカバーをするなど利用者へのダメージを防ぐ配慮をしています。		施設内にデイサービス、訪問介護、居宅介護支援などのなじみのスタッフがおり、こまやかな安心と信頼関係がおりスムーズにしている
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	時間のゆるぎ限り、研修会等に参加し、質の向上に努めている。		研修会などの開催の要項を回らし、希望者は自主的参加している。尚報告書提出があり、スタッフは各自啓発に努めている
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市における地域密着型事業所 <sup>サービス</sup> 研修会に参加、同業者と交流する機会を持ち、活動を通じて、勉強会や意見交換を行っている。		ケアマネー協会においても14月に1度、勉強会、ネットワークづくりを行っている
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	新人職員には、指導力のある職員と組み、等の工夫をしている。		先輩はスタッフの困っていることなどを聴き、とやむ日頃から心がけて、スムーズに介護が出来るようにしている
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の特技・趣味を生かし、生活面レクリエーション場面等に活用している。		家庭環境や体調管理上も各々のスタッフの要望に対応しながら研修会など参加出来るようにしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	時間をかけ対応している。	利用者様の訴えを日々聞きながら介護者様には1日1回の面会も必要に応じてお願いしながら相談している
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の面会に見える時間に合わせて、個人的に話し合える場をつくり、不安や困っている事を聴くよう努めています。	一日の様子を介護者様などには伝え少しづつ不安などを解消出来るようにケアしている
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、必要とする支援を見極められるよう対応に努めています。	本人と家族の意向を主体的に実施出来るよう話し合い対応している
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者様、本人の様子を観察しつつご家族の協力をいかに促し、できるだけ不安や、ストレスの少ないよう工夫しています。	御本人の様子の変化に応じて介護者と連絡を密にし、安心して過ごせるよう協力を頂いております
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活や行事などにおいて、教えていくべく事も多く、何事も話し合い支え合う、アウトホームな関係を築いています。	地域文化祭の展示作品等を通じて日頃心に思っていることなどを伺いながら過ごしています

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	実施している。 (例)毎夕方になると帰宅要求の強い利用者に対し家族と密なる連絡をとり、一緒に本人を支えている。現在も継続中である。		定期的な医療受診などで、現状が変わった時は、必ず家族に連絡。状況を確認して協力の依頼は声をかけ互いの関係を築いている。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	常に申すの立場を踏まえて、本人と家族そして職員も含め良い関係が保てるよう支援しています。		面会などで来訪された時、日頃の様子をお話し要望など伝え話し合える機会を援助している
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様、ヒリ人の馴染みの人との関係が切れぬよう支援しています。		なじみの場所への散歩などが行っている
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	日常生活場面及びレクリエーション場面等を利用し、利用者同士がより支え合うよう個々の技量を活用し役割等を定めている。		レクリエーションなど実施して利用者様同士楽しく過ごせるよう心がけている
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりを必要とする方には、積極的に対応していくことは当然です。		退所された後は当サービスや訪問介護など顔なじみのスタッフが対応している



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の「できる事」「支援する事」を常に話し合い、記録し、情報を共有、介護計画の見直しに反映しています。		変化に合せ介護者と共に話し合いスタッフ全員で連携し計画見直しに協力している
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の面会、利用者様の買物や病院受診等、要望状況に合わせてその都度柔軟に支援しています。		面会時に合せて、自宅で遊びたい、テレビでみなさんと会話を楽しみたい、お茶を召し上がり楽しんでもらっています
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティアの定期的な来所による話し相手、多賀消防署による消防訓練等を活用している。		毎月回、市民ボランティア「お花の会」との交流、GH行事に際し、市民ボランティア「朝華会」の踊りや歌、一斗を通して協働しサポートしています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスの必要性が生じた場合積極的に活用支援していく。 地域老人会の活動に本人の意向により参加支援している。(1名)		ホームより徒歩5分の所にあります、「若宮川」に職員と共に毎月2回参加しています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性が生じた場合活用していく。		困難事例について相談中です



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の希望にて主治医を決めています。月、2回の往診の他、緊急時に適切な受診ができれば支援しています。		毎週来訪されるため、小さなことも相談出来るようになっていす
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者well-一人の日常生活から内服薬迄、色々な事も相談出来ます。		往診の主治医は認知症の専門医師であり対応の状況などもみつけていす
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者well-一人の事をよく知る看護職員がおり、医師との連絡も、日常の健康管理について、報報を共有、支援しています。		スタッフとして日々の健康状況を把握し主治医との連絡をみつめています
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	その都度、対応できるように連携に努めています。		面会(ご向き)関係者との連携をみつめていす
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期ケアに向けた方針は、医師利用者様、ご家族と話し合っています。また、参考資料をもとに、書面化し、全員で共有できるように努めています。		部会MTを利用し変化に対応 対応も、スタッフ全員で話し合っている
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期ケアについては、利用者ご家族と話し合い、「できる事、できない事」を見極め、不安のないよう準備しています。		看護師を含み主治医との連絡をみつめていす 利用者の変化には充分な連携体制をとっている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住むダメージ等は、最小限に防ぐことが出来るよう努めています。		住み替えの家具や衣類をうまく利用できるように声をかけている
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護マニュアルに基づき徹底している。		各スタッフは折りにふさわしく目を通しお声かけしている
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望、意見を丁寧に聞き、説明し、日常生活が円滑にいくよう対応している。		趣味を楽しむよう ・各個人創意工夫する協力している(部屋の飾り) ・草花栽培などが通し、明るく暮らせるようにしている
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「限られた人員配置にて十分満足できた。」とは考えていないが、一人ひとりの人格を尊重し、日々のその人らしい暮らしを目標に頑張っている。		各個人の部屋の模様替えなど希望に合わせて介助する
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみは、日々支援している。 理容：定期的に来店利用している。 又本人が望む店に行きたい場合は家族に連絡し、実施している。本人よりの不満は、現在まで特にない。		歯科受診などが外出では心はすまみおしゃべりしています。 面会などの来客のある時は一般とドアがチャイムを押し合っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が出来る方と一緒に実施している。 献立も利用者の意見を取り入れながら実施している。		交替で盛付けや準備、片付けなどは実施している
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコ、お酒は、実施していない。 おやつは、利用者皆が好むものを用意又は、作成し、よろこばれている。		当農園収穫物もよろこばれる (じゃがいも、とうもろこし他)
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	昼間は、勿論のこと、夜間も一人ひとりの排泄パターンを把握し、誘導している。		声かけを密に実施し、トイレで自立できるように心がけている
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者様の希望が聞かれない為、現在は週2日施行。9名全員が入浴できるよう声かけ誘導しています。		時々、拒否ある利用者様に対しては清拭及び下着交換や、足浴を実施する時もあります
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	出来るだけ、夜間安眠できるように、昼間の活動に力を入れている(昼寝防止)		利用者が興味と示す活動内容工夫している
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活パターンにそい、生活出来るように支援している。 草刈り、草むしり、買物、洗濯物とりこみ等、本人の役割、楽しみごととして実施している。		ひまわり畑の農作物の収穫を楽しんでいる


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>		<p>近くのスーパーに介助にて楽しみながら買物している</p> <p>尚イベント(参加の際には好みの買物を楽しんでいる)</p>
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>散歩ルートも把握、携帯持参していただいています</p>
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		<p>ボランティアで介助にあたっています</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		<p>個人的に携帯を利用している利用者様もおります</p> <p>ダイヤルを共に確認して介助する方法もある</p>
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		<p>時間帯によりお茶を共に居ながらたりレクリエーションも必ず参加してもらっています</p>
(4)安心と安全を支える支援			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		<p>身体拘束に関するマニュアルに基づき取り組んでいる。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が鍵をかけることの弊害を理解しており、ホーム外に出る際は、声をかけ見守るなど、安全面を考慮してケアに取り組んでいます。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら、自然体での人員確認、安全確認等を昼夜通し実施している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険を防ぐ意味で、注意の必要な物品を使用する場合は、取員の目のほどく範囲内で使用するよう協力してもらっています。現状では問題はありません。		洗濯洗剤等は高い所に保管する
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員で話し合い、意見をもとに文書化大抵りの状態に応じた事故防止に取り組んでいます。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルに基づき取り組んでいる。多賀消防署に依頼し、当地域にて訓練実施。(応急手当救命講習会、平20.2.26)		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	多賀消防署の協力を得て、通報・消火・避難訓練を実施。(平20.9.26) 敷地内に運営者宅、隣接アパートに取員居住のため協力を得られやすい環境にある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご本人とご家族の立場、ご意見を大切に、常に話し合い 抑圧感のない暮らしの対応策を支援しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	利用者様の表情や声の様子、など小さな気付きも、情報の共有、体調変化の早期発見、対応に結び付けています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についての用法や用量は、看護職員により詳細な記録、支援を受け、理解されています。内服にあたり各自責任を持ち記録、症状の変化と確認に努めています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者様、個人に合わせ、牛乳や食物せんいの多い食材の利用を工夫しています。また、ホーム周辺を散歩、腹部マッサージ等便秘予防に取り組んでいます。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声かけ見守り、または、誘導介助するなど、口腔内清潔保持につめています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様、個人に合わせ 量の栄養、水分量なども細かくチェック、バランスを考慮して支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対策のマニュアルが作成されており 予防につとめています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	取員及び調理等一緒にある利用者にも食中毒の予防についてお互に日々注意、実行している。 新鮮な食材の使用と管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	違和感や威圧感を感じせず、ご家族や近隣の住民も訪ねやすいよう玄関まわりの家庭的な雰囲気をつくり工夫しています。 (草花を植えている)		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間(ホール)は天上が高く自然の光が入り易い工夫されている。 また、花などを活けて季節感、居心地よくさせる工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	相談室がありしている時は利用者同士が雑談したり、読書したり善に開放し好評である。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様本人の馴染の物や、使 慣れた、家具や、テレビ、椅子などを 配置個性的な居室に工夫されています。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている</p>	<p>においや空気のだよみは常時換気に努めて います。 室内の温度、湿度も、外気温と大差の ないよう念頭にチェック状況に依りています。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している</p>	<p>段差のないホーム内、元気な利用者が 他の利用者も手助できる視界のよい設計 等工夫されている。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している</p>	<p>わかる力、できる事を大切にしています。 混と乱や失敗をストレスにならないよう、 「アラート」を傷つけないよう自かに何れ支援しています。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている</p>	<p>散歩コースや、外気浴を兼ねた ティータイム の場所としています。 1年を通して草花を育て、皆様の目を楽し ませています。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員wel, wellな自分の家族と思われよう<sup>支援</sup>対応している事、とてもネットホムな所と思います。